

第9回「小学生『夢をかなえる』作文コンクール」

受賞者・受賞校決まる

「子どもたちの将来の夢のサポートに」。特定非営利活動法人NPO法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会（略称：日本FP協会）が主催する、第9回「小学生『夢をかなえる』作文コンクール」（共催：日本教育新聞社、後援：文部科学省、金融庁、全国道府県教育委員会連合会ほか）の入賞作品がこのほど決まった。全国から寄せられた作品の総数は1968作品（学校応募38校）で、厳正な第1次選考（361作品）中、低学年部門（1～4年生）：189作品、高学年部門（5～6年生）：172作品、第2次選考（各部門21作品ずつ）を経て、個人賞として中・低学年部門と高学年部門にそれぞれ最優秀賞1名、優秀賞5名、奨励賞10名、学校賞として最優秀学校賞1校と優秀学校賞6校が選ばれた。今回、最優秀学校賞に輝いた東京、筑波大学附属小学校の山田誠教諭に指導上の工夫などについてインタビューした。

最優秀学校賞 東京筑波大学附属小学校

保護者からも称賛の声

「今回から、個人賞のこう振り返る。部門が1～4年生の中。同校はこれまでに3まで、4年生は今年から。た児童の保護者から残した作文。徳を担当したクラス。山田教諭は「受賞のチャンスが広がるとライフランシート」「特に5年生は私が担当。まさにとがった！」と私も児童もが恰好の教材となった。当していなくてもかか。保護者の今まで以上に意欲的に「印刷して応募児童全。わらず、担任が熱心に取。言葉こそが取り組むことができま。員に配布したところ、児。り組んでくれたことも。同コンク。した」。過去6回「最優。童たちは『先輩たちが実。あ。って、子どもたちの頑。ルの意義を秀学校賞』を受賞した。際に書いたものだ」と感。張りはひとしおだったよ。と。思。いま。同校の山田教諭は、今回。動。実物だけに多くのこ。うです」。

「今回の取り組みです」と強調。イフランシートを書。自分。は。将。来。何。に。な。り。た。コ。ン。ク。ール。だ。か。ら。と。い。く。際。に。と。も。役。立。つ。た。い。の。か。、そ。の。た。め。に。は。具。つ。て。難。し。く。考。え。ず。に、あ。ら。う。と。す。」

第9回「小学生『夢をかなえる』作文コンクール」受賞校一覧

【学校賞】

- 最優秀学校賞(1校) 東京・筑波大学附属小学校
- 優秀学校賞(6点)
 - 山形・新庄市立日新小学校
 - 茨城・つくば市立竹園西小学校
 - 石川・羽咋市立瑞穂小学校
 - 徳島・徳島文理小学校
 - 長崎・長崎大学教育学部附属小学校
 - 鹿児島・鹿児島大学教育学部附属小学校

個人賞 中・低学年の部 最優秀賞 夢の先にした事 東京都 筑波大学附属小学校4年 石井心音

私の夢は小学校一年生の時から変わらない。深海を調査する、深海の生物学者になる事だ。私にとって深海は宇宙よりも不思議で面白い。調査潜水艦に乗って何度も調査に行けるし、高い水圧と光の入らない真っ暗な世界。どんなに深くても、水温は2℃〜4℃で一定。こんな変わった環境でも生きていける深海生物を調べれば、必ず人間の役に立つ細胞を発見できると信じている。

たとえば、棘皮動物やベニクラゲのように、切れてもまた再生する細胞や、死ぬ直前になると、再び生まれたにもどる細胞を人の命に利用したい。

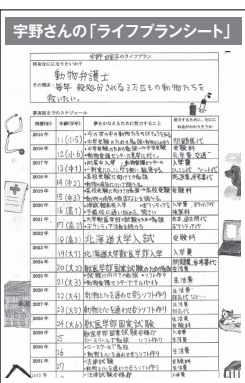
そうすれば、両足を手術したおばあちゃんの足を治せるし、何才になっても生き続けられる。ライフランを立てたら私が大入学のころ、おばあちゃんは81才になっている。急がないと！



そのためには、大好きな生き物や植物の研究は自分の部屋に理科室を作って、毎日でもしたい。深海生物学者になるには、地質学や科学・物理やコンピュータのことも学びたい。調査潜水艦に乗るメンバーには、世界の専門家が集まる。英語は絶対に話せなければ。私が働く海洋研究開発機構は、東京大学海洋研究所と協力して研究・調査を進めている。メンバーになるには、東京大学生物学科に入学できるように、今から勉強しなければならぬ。

個人賞 高学年の部 最優秀賞 犬生を守る動物弁護士由里子 福岡県 福岡教育大学附属福岡小学校5年 宇野由里子

毎年二万八千頭もの、何の罪もない犬たちが殺処分されている。その内の四千頭はまだ小さな子犬らしい。私はこの事実を知って、言葉にできないほど胸がしめつけられた。私の夢は、殺処分される犬をゼロにすることだ。



マシヨンからしだから今は飼えないけれども、今すぐでも犬がほしい。犬は大昔から人間にとってベストパートナーの動物だったはずだ。私は人生をかけて、犬の人生「犬生」を幸せなものにしてあげたい。その手段として犬の身体について詳しく知るために「動物弁護士」になろうと思う。

ために、獣医になりたいと思う。そして技術者の人と協力して動物と気持ちを通わせるソフトをつくりたいと思う。そのためには、動物の体のちよとした動きや表情の変化を見のがさない最新の技術の協力も必要だ。それが実現すれば、人間はだれでも犬の心が分かるようになるはずだ。そうやって分かった心を、私は人間の心と同じように大切にしたい。動物愛護法で保しようされた犬の権利を守ってあげるために、動物の資格も取ると思う。そのために獣医学部の六年間が終わった後、ロースクールに入り法律の勉強をする。大学に行くことにもお金がかかるし、生活することにもお金が必要になるらしい。でも、勉強を頑張ると奨学金がもらえるということも分かった。

動物と心を通わせるソフトをつくと、きっと、もつと動物の心をよくわかり、楽しく幸せに心を通わせ合える日が来るだろう。私はその日が来ることを、楽しく楽しみにしている。

私はこのライフランを書くことで、何でもお金が必要だということを実感した。やりたいことを何でもやらせてくれる両親に私は今、心から感謝している。これからは、動物とふれ合いながら基礎的なことを勉強をしっかりとやっていこうと思う。私は大好きな動物を守るために「動物弁護士」になろうと思う。

第9回「小学生『夢をかなえる』作文コンクール」受賞者一覧

【個人賞・中・低学年の部】(五十音順・敬称略)

- 最優秀賞(1点) 石井 心音(東京・筑波大学附属小学校4年)「夢の先にした事」
- 優秀賞(5点)
 - 風間 壮介(東京・筑波大学附属小学校4年)「僕の将来の夢」
 - 北條 智哉(徳島・徳島文理小学校4年)「理想の運転士」
 - 堀 瑠那(岐阜・恵那市立明智小学校3年)「夢にむかってやる事」
 - 矢倉 天馳(奈良・奈良市立富雄北小学校4年)「科学の力で人を守りたい」
 - 山岸 十和(東京・筑波大学附属小学校4年)「夢のふうせん」
- 奨励賞(10点)
 - 大友 悠生(東京・筑波大学附属小学校4年)「夢へ大空へテイクオフ!」
 - 今野 花南(宮城・大崎市立鹿島台小学校3年)「めざせ!小児科のお医者さん」
 - 酒井 駿典(東京・筑波大学附属小学校4年)「夢のためには」
 - 佐郷 愛華(宮城・大崎市立志田小学校4年)「輝く未来への道」
 - 壽恵村 尚(東京・聖徳学園小学校1年)「ゆめは銀河鉄道をつくること」
 - 高橋 愛佳(徳島・徳島文理小学校4年)「多くの人を救える医師をめざして」
 - 竹嶋 優花(長崎・長崎大学教育学部附属小学校1年)「けんちくかになるのがわたしのゆめ」
 - 富永 哲史(長崎・長崎大学教育学部附属小学校1年)「やきゅうせんしゅのピッチャー」
 - 福原 聖叶(東京・筑波大学附属小学校4年)「絵と共に」
 - 渡邊 煌希(東京・筑波大学附属小学校4年)「ぼくの将来の夢」

【個人賞・高学年の部】(五十音順・敬称略)

- 最優秀賞(1点) 宇野 由里子(福岡・福岡教育大学附属福岡小学校5年)「犬生を守る動物弁護士由里子」
- 優秀賞(5点)
 - 石塚 玲於那(鹿児島・鹿児島大学教育学部附属小学校6年)「宇宙へはばたく」
 - 加藤 諒大(茨城・つくば市立竹園西小学校5年)「僕の将来・・・」
 - 瀧邊 爽佑(鹿児島・出水市立荘小学校5年)「夢へのスタート」
 - 山道 陽輝(長崎・長崎大学教育学部附属小学校6年)「また一步踏み出そう」
 - 吉野 菜海(東京・筑波大学附属小学校5年)「NAMI DESIGN」
- 奨励賞(10点)
 - 井上 春菜(山形・新庄市立新庄小学校6年)「絶対叶える 私の夢」
 - 大庭 愛瑛瑠(東京・筑波大学附属小学校5年)「私の目指すもの」
 - 加藤 珠実(東京・足立区立千寿常東小学校6年)「叶える予定の未来について」
 - 仮屋 透子(鹿児島・鹿児島大学教育学部附属小学校6年)「私の将来の夢」
 - 澤田 乃里(石川・羽咋市立瑞穂小学校6年)「自分の夢を叶えるために」
 - 津曲 真衣(鹿児島・鹿児島大学教育学部附属小学校6年)「将来の夢」
 - 永田 桃子(鹿児島・鹿児島大学教育学部附属小学校6年)「夢を叶えるために」
 - 福田 久乃(長崎・長崎大学教育学部附属小学校5年)「笑顔」
 - 松本 若菜(石川・羽咋市立瑞穂小学校6年)「大きい夢を追いかけて」
 - 渡辺 夏希(東京・筑波大学附属小学校5年)「医者への道」